富士通コンサートシリーズ

第31回 名古屋クラシックフェスティバル

ビエロフラーヴェク 指揮
チェコ・フィル

イルジー・ビエロフラーヴェク 指揮
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

チェコが誇る美しい弦の調べ―
ビエロフラーヴェクとの新たな伝説が生まれる！

グリンカ *M.I.Glinka*
歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 *Rouslan and Ludmila Overture*

ブラームス *J.Brahms*
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77 *Konzert für Violine und Orchester op.77*
ヴァイオリン：ヨゼフ・シュパチェック（チェコ・フィル コンサートマスター）

チャイコフスキー *P.I.Tchaikovsky*
交響曲 第6番 ロ短調 op.74「悲愴」 *Symphony No.6 op.74 "Pathétique"*

2013 11/4 月・休 PM2:00 愛知県芸術劇場コンサートホール

S￥19,000　A￥16,000　B￥12,000　C￥9,000　D￥6,000　学生￥3,000（税込）

学生券
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

お問合せ お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333 http://cte.jp 中京テレビ事業 検索
〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F（月～金 AM10:00～PM5:00／土・日・祝日休業）
座席表からお席をお選びいただけます！

チケット販売所
●中京テレビ事業チケットセンター／052-320-9933 ●チケットぴあ／0570-02-9999（Pコード:196-753）
●ローソンチケット／0570-084-004（Lコード:48157）
●愛知芸術文化センターPG／052-972-0430 ●栄プレチケ92／052-953-0777
●イープラス／eplus.jp ●名鉄ホールチケットセンター／052-561-7755
●中日サービスセンター／052-263-7282　他　有名プレイガイド

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

5/25（土）AM10:00～ 発売開始！

夢をかたちに

主催／中京テレビ放送　企画・運営／中京テレビ事業　協賛／富士通株式会社

FUJITSU
shaping tomorrow with you

ついにビエロフラーヴェクの時代が到来　諸石幸夫（音楽評論家）

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団がついにビエロフラーヴェクを首席指揮者に迎えて、来日公演を行うと聞いて、深い感慨にも似た想いを抱いてしまうのは決して筆者だけではないであろう。というのは、ビエロフラーヴェクは既に1990年に、一度、このチェコの至宝とたたえられる名門オーケストラの首席指揮者に迎えられていたからである。だが当時はまだまだビロード革命直後の混乱期であったし、価値観も混在していた。しかし、それだからこそ、ビエロフラーヴェクへの期待は大きかったし、ビエロフラーヴェク自身もまさに再建に心血を注いだのである。だがそうした上昇気流の渦中というべきか、新しい流れを作り出そうとビエロフラーヴェクが奔走している最中に、チェコ・フィルは次期の音楽監督にはドイツ人のアルブレヒトを選出した。その背景には、当時の経済的な混乱を国外からの指揮者を迎えることでなんとか脱却したいという切実なる想いもあったのかもしれないが、この変節にもっとも驚いたのがビエロフラーヴェク自身であった。即座に辞任して、新たにプラハ・フィルハーモニアを設立、変わることなくチェコの音楽文化の発展に奔走したのである。

こうした流れの中、1996年、チェコ・フィルは創立百周年という記念の年を迎えた。1896年1月4日にドヴォルザーク自らが指揮台に立ち、チェコ・フィルは誕生したのだが、その百年後の記念コンサートにおいては既にノイマンは他界していたし、クーベリックは健康がすぐれず姿を見せることもできなかった。そこで着任したばかりのアルブレヒトが指揮、前半をビエロフラーヴェクが指揮する事態となった。筆者はその場に居合わせたが、あの祝典をチェコの音楽ファンは一体どのような気持ちで見つめていたのかと思うと複雑である。

その後、チェコ・フィルはアシュケナージ、マーカル、そしてインバルと首席指揮者を代えてきた。ほぼこの20年間に、5人もの指揮者を擁してきたことになる。この間、ビエロフラーヴェクはBBC交響楽団の首席指揮者となり、プロムスやレコーディングなど実に多彩な側面で魅力あふれる演奏を聴かせて、現代屈指のマエストロであることを世界に確認させてきた。

そんなビエロフラーヴェクが再び、チェコ・フィルの首席指揮者に返り咲いたのである。ビエロフラーヴェクは今年67才である。文字通り円熟期にあるチェコの名指揮者のもとでチェコ・フィルがどのような演奏を聴かせてくれるのか期待は尽きない。かつてのターリヒ、アンチェル、そしてノイマン時代に聴かせてくれた、あの温かく、初めて聴いても、なぜか懐かしくなるような伝統と国民性を反映させた演奏になるのか、それとも現代を意識させる張りと緊迫感あふれるドラマティックなものになるのか、興味津々である。チェコからの新しい感動体験の予感である。

イルジー・ビエロフラーヴェク（首席指揮者）

Jiří Bělohlávek, Chief Conductor

プラハ生まれ。プラハ音楽院に学ぶ。
セルジュ・チェリビダッケのアシスタントを務めた後、1973年チェコ・フィルを指揮。また、1972年から1978年までブルノ国立フィルの指揮者を務め、その後プラハ交響楽団の首席指揮者、その後チェコ・フィルの常任指揮者を歴任。1990年チェコ・フィルの首席指揮者に任命される。1994年にプラハ・フィルハーモニアを創立し音楽監督となり、2005年に桂冠指揮者となる。1995年にはBBC交響楽団の客演指揮者となり、2006年に同響の首席指揮者に任命された。これまでにベルリン・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ニューヨーク・フィル、フィラデルフィア管、シュターツカペレ・ドレスデン等世界の主要なオーケストラを指揮している。2012年からチェコ・フィルの首席指揮者に復帰。

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

Czech Philharmonic Orchestra

1896年創設。デビュー公演はドヴォルザークが指揮。
1908年、マーラーが自作の交響曲第7番の世界初演を指揮。その後チェコ・フィルは、ターリヒ、クーベリック、アンチェル、ノイマンのチェコ人指揮者の元、数々の名演によって欧州の名門オーケストラとしてその名を確立した。1990年ビエロフラーヴェクがチェコ・フィルの首席指揮者に就任。続いてアルブレヒト、アシュケナージ、マーカル、インバルがその職責を引き継いだ後、2012年世界的巨匠となったビエロフラーヴェクがチェコ・フィルの首席指揮者に復帰。

ヨゼフ・シュパチェック（ヴァイオリン）　Josef Špacek, Violin

チェコのヴァイオリニスト、ヨゼフ・シュパチェック（1986年）は、同世代で最も才能あるヴィルトゥオーソの一人として急速に頭角を現している。カーティス音楽院でイダ・カヴァフィアンとハイメ・ラレードに、ジュリアード音楽院でイツァーク・パールマンに師事。ブリュッセルのエリザベート王妃国際コンクール入賞（2012年）、マイケル・ヒル国際ヴァイオリン・コンクール優勝（2009年）。ヨゼフは、華々しい独奏者のキャリアとチェコ・フィルのコンサート・マスターという地位を両立させている。ソリストとしては、フィラデルフィア管、チェコ・フィル、プラハ・フィルなどのオーケストラと共演している。これまでに共演した指揮者は、イルジー・ビエロフラーヴェク、クリストフ・エッシェンバッハ、マンフレート・ホーネック、ジェームズ・デプリースト、ヤクブ・フルシャ、エリアフ・インバルなど。また、世界中の音楽祭で定期的にリサイタルを行っている。

10/27（日）京都コンサートホール
チェロ：ナレク・アフナジャリャン
問 京都コンサートホール 075-711-3231

10/30（水）・31（木）サントリーホール
30（水）アフナジャリャン 31（木）ファウスト
問 ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

11/2（土）メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）
ヴァイオリン：イザベル・ファウスト
問 メディキット県民文化センター 0985-28-3208

11/3（日・祝）ミューザ川崎シンフォニーホール
ピアノ：河村尚子
問 ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

FUJITSU

私たち富士通は、
豊かで夢のある未来を
あなたと一緒に、
かたちにしていきます。

shaping tomorrow with you